

2024年8月9日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 貝増 匡俊

ブータン国水力発電開発事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2024年7月29日(月) 14:00～17:33
- ・場所：JICA 本部(2階202会議室)及びオンライン
- ・ワーキンググループ委員：阿部委員、貝増委員、柴田委員、林委員
- ・議題：ブータン国水力発電開発事業(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) DFR Appendix 1,2.pdf
 - 2) DFR Volume 1,2.pdf
 - 3) Appendix 1-1,1-2_Environmental Monitoring Form (Druk Bind I HPP).pdf
 - 4) Appendix 2_Environmental Monitoring Form (Druk Bindu TL).pdf
 - 5) ESIA_Druk Bindu I, II HPP.pdf
 - 6) ESIA_Jomori HPP.pdf
 - 7) ESIA_Jomori TL.pdf
 - 8) IEE_Druk Bindu TL.pdf
 - 9) Appendix_DB I&II HPP (2~12)
 - 10) Appendix_DB TL (1,3~8)
 - 11) Appendix_Jomori HPP (1~10)
 - 12) Appendix_Jomori TL (1~16)
 - 13) 【SC案助言対応結果】ブータン国水力発電開発事業(協力準備調査(有償)).pdf
 - 14) 【回答表】ブータン国水力発電開発事業(協力準備調査(有償)) SC案
 - 15) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2022年1月)

全体会合(第159回委員会)

- ・日時：2024年8月9日(金) 14:00～17:14
- ・場所：JICA 本部(2階202会議室)及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 保護区内で実施される事業であることを鑑み、他ドナー等の類似事例等で採用されている生態系への緩和策に係る方法を調べ、それを踏まえ、適切な生態系への配慮を行うことについてFRに記載すること。
2. 絶滅危惧種（Critical Endangered: CR、Endangered: EN）や危急種（Vulnerable: VU）がプロジェクト・サイト（発電所、送電線、アクセス道路）で確認された場合は、Druk Green Power Corporation Limited (DGPC)、Druk Hydro Energy Limited (DHyE)、Bhutan Power Corporation Limited (BPC) が設置する関係省庁と研究機関の専門家からなる Biodiversity Management Committee が、国際的なエネルギー関連機関のガイドラインやブータン国の過去の案件などで実施した緩和策を参照しつつ、CR、EN や VU の実態に合わせ効果的と考えられる緩和策を実施するようFRに記載すること。

以 上